

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第348号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 01770-6-12389
 事務局 〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722

『全国林業グループコンクールに参加して』 (ウバユリ研究への挑戦)



社会福祉法人めぐみ厚生センター

富士学園 生活支援員

山崎 栄子



私は、平成3年に富士学園に入職し今年で33年が過ぎました。佐賀市富士町の「古湯温泉」から北西に位置する杉山地区に住んでいて、「林業を頑張るお父さんを応援しよう」「次世代に山の大切さを伝えよう」を合言葉に、平成8年に富士町女性林業研究会を発足(発足当時72名)して活動しています。その後、平成17年に市町村合併が行われ、「山背負い」(山に暮らし、山を育て、山を背負う)と、「山眺め(山の恵みを受けて暮らす)」が、山で親しみ合うことが次世代に大切な山を繋げていくことになると考え、名称を「佐賀市婦人林業研究会」(現任37名)と改名し、佐賀市内の人とも一緒に活動をしています。

平成25年には、活動の輪が広がり嘉瀬川下流域の有明海で海苔業を営む(海を背負う)佐賀市漁村女性の会の皆さんから「山と海とで手をつなぎましょう」と声をかけていただき、山からは椎茸と柚子を、海からは海苔を持ち寄って、平成28年春に、『佃煮のり』と『柚子のり』を商品として作り上げることができました。

発足当初より「ウバユリ研究」も

行っています。古湯温泉は2000年の歴史があり、38度の人肌くらい温泉に、ぬるっとした滑らかな肌触りが特徴の温泉です。古くから湯治場として親しまれ、遠路はるばる歩いて湯治に来たお客様に、滋養強壮に長け消化に良く、栄養価の高い「ウバユリの根」を砂糖と混ぜ、お湯に溶いて振る舞っていたと伝えられております。ウバユリは、九州や四国の山林に自生しているユリ的一种で、富士町にも自生しています。

そこで、「富士町の伝統文化(山の恵み)の再発掘」「ウバユリを新たな特産林産物として確立させる」「縁でのウバユリによる山林美化」を目指して研究を始めました。当時、「ゆり粉」を採る人や作り方を知る人がほとんどいない状況で、地域の人に聞き込みをしたり、「葛粉」を採っている事業者を視察したり、豪雨災害やイノシシの被害にも遭い試行錯誤の日々が続きました。それから23年かけて、平成31年にゆり粉と和三盆のみを材料として作った干菓子『ゆり湯』を商品化。また、令和6年に、ゆり粉に地元で採れる「さくら」「菊芋」「すぎな」「柚子」と「プレーン」を合わせて5種類の

里山の宝が味わえる「とろろんとやさしい里山の贈り物『ユリコ浪漫』」を商品化しました。

昨年9月に長崎で開催された、第

64回林業研究グループ九州地区交換研修大会の「林業研究グループコンクール九州ブロック実績発表」に参加し、28年を迎えたウバユリの研究内容を会長として発表することになりました。当研究会は、最優秀賞に輝き、今年2月に東京で開催された「全国林業グループコンクール」で林野庁長官賞を受賞しました。また、昨年末に「佐賀県森林・林業推進功労者表彰」もいただきました。

佐賀市婦人林業研究会も高齢化していますが、「サガンスギ」の育苗に挑戦する20代、30代の若い会員も入会されています。今後、若い会員の刺激を受けながら多くの仲間を呼び込めるような魅力ある活動を続けていきたいと考えています。また、「山背負い」の仲間、「山眺め」の仲間、山の恩恵を受けている「海背負い」の仲間、それぞれの仲間が集まり、手を取り合いながら「楽しい」をモットーに輪が広がっていきは幸いです。



ウバユリの花 (おとこユリ)



おんなユリの球根

《 恵友会 第23回総会 報告 》

去る6月16日に、めぐみ園にて第23回総会が開催されましたので、「ご報告いたします。」

- 議題1 令和6年度事業報告
- 議題2 令和6年度会計決算報告及び監査報告
- 議題3 令和7年度事業計画案
- 議題5 令和7年度会計予算案
- 議題6 その他



開会の挨拶として副会長より、日頃から恵友会会員の皆様の御協力に対する謝意が述べられ、昨年からの毎年の開催となったこと、会費の変更（正会員2000円、賛助会員1500円）とし、総会決議の整合性を図った説明がなされた。

事務局より令和6年度の事業報告として、会報誌の年4回の発行と各施設への「秋祭り」に規程の協賛金を渡したことで、隔年実施の研修視察は各施設でコロナ感染の時期と重なり、令和6年度は見合わせたことの報告があり会計報告の後、平山監事から「令和6年度の会計は適切に処理されている」会計監査報告を受け、令和6年度の事業・会計報告が承認された。

次に、令和7年度の事業計画として、昨年度総会で決議された「会報誌の年3回発行」と、各施設の「秋祭り協賛」についての計画・予算案を事務局より提案し満場一致で可決された。

その他では、佐賀県で起きた乳児施設での事件を受け、保護者と施設（行政含む）の想いや対応等についても活発な意見交換の場となり、施設の応援団体として何が出来るか？改めて考える機会となりました。

会終了後、出席された会員の皆様と自己紹介や近況報告を兼ねた座談会も開催し、米騒動や自身の健康等、話題は尽きず和やかな雰囲気の中で会員同士の交流も深め合えたひと時となりました。急な変化のある現代社会でも、めぐみ厚生センターの利用者を想う気持ちは温かく、力強いものであると確信しました。



＝ 総会の様子 ＝



会計監査報告



＝ 会報誌発行のご紹介 ＝

生活介護事業所「どりいむ」の利用者の方が「会報誌折り」と「発送準備」の作業を担っておられます。一通一通丁寧に・・・。



役員紹介
(敬称略)

会長	副島 勉
副会長	福島龍一
副会長 (会計兼務)	古賀洋子
幹事	山田英子・岡部洋子
幹事	永尾耕三・海東 強
幹事	野中明文・平山修子
顧問	嶋原貞雄

◎正会員は、役員とめぐみ厚生センター課長以上で構成しています。

◎ 会費納入

ありがとうございました。

(令和7年6月20日現在)

(敬称略)

- 榎 永池、古川美津子、池田治夫、田代裕明、山領昭子
- 古賀洋子、栗林恵一・扶貴、多長勝利、山口勝正名
- 大渡・武藤(多石庵理容)、平山修子、永瀬浩一、楠満
- 武下好光、福島龍一、永尾耕三(有)、丸福糧因店
- 岡本保子、内川商事株式会社、岩田貴剛、松藤範幸
- 栗林康之・三枝子、梅本隆司・富美子、平栄喜
- 平野弘治、園田健介、梅野勝子、堤 宏隆、中村昌平
- 大金運浩、丸茶醬油株式会社、九州食品株式会社
- ヤクルト販売株式会社、本吉ヨシ子、斎藤明正
- 武下正文、大塚博幸、野中明文、柿本啓子、島田折枝
- 大崎茶舗、副島 勉・純子、白浜みゆき(有)はと交通
- 池田醬油醸造店
- めぐみ園家族会6名、めぐみ園職員5名
- 富士学園G職員16名

◎ ご寄付

ありがとうございました。

(令和7年6月30日現在)

(敬称略)

- 楠満、岡本保子、栗林康之・三枝子
- 平栄喜、中村昌平、平山修子
- 斎藤医院、斎藤明正、武下正文



※編集後記※

今年は毎春秋に開催されていた佐賀の風物詩、「栄の国まつり」が5月に開催されました。猛暑対策でしたが大正解！お年寄りから幼児まで沢山の方が参加していました。

「こがんせんばいかん」にこだわらず、「こがんやり方もあるばい」で栄える国・佐賀を目指しましょう！ (事務局)